

慢性期入院医療実態調査 結果概要

1. 目的

療養病棟等の慢性期入院医療において、平成 18 年に予定される診療報酬体系見直しの影響評価を行うため、見直し前の慢性期入院医療の患者像および分布の実態を把握することを目的に調査を実施した。

2. 調査客体

(1) 調査対象

下記の病棟のいずれかを有する全国の病院に対して、原則として無作為抽出（約 10%抽出）を行い、調査対象病院とした。

調査対象患者は、調査対象病院における下記病棟に在院中のすべての入院患者とした。

- ◆療養病棟入院基本料を算定している病棟
- ◆療養型介護療養施設サービス費を算定している病棟
- ◆特殊疾患療養病棟入院料（1、2）を算定している病棟

(2) 調査対象数

病院類型（病床種類の組み合わせ）、所在地、病所規模により層化抽出した結果、353 病院を調査対象とした。

図表 調査対象病院の属性

病院規模別	一般病床併設	地域別				総計
		特別区・特甲地	甲地	乙地	その他	
200床未満	併設無	10	0	8	65	83
	併設有	20	5	21	143	189
200床以上	併設無	2	1	3	12	18
	併設有	15	2	6	40	63
総計		47	8	38	260	353